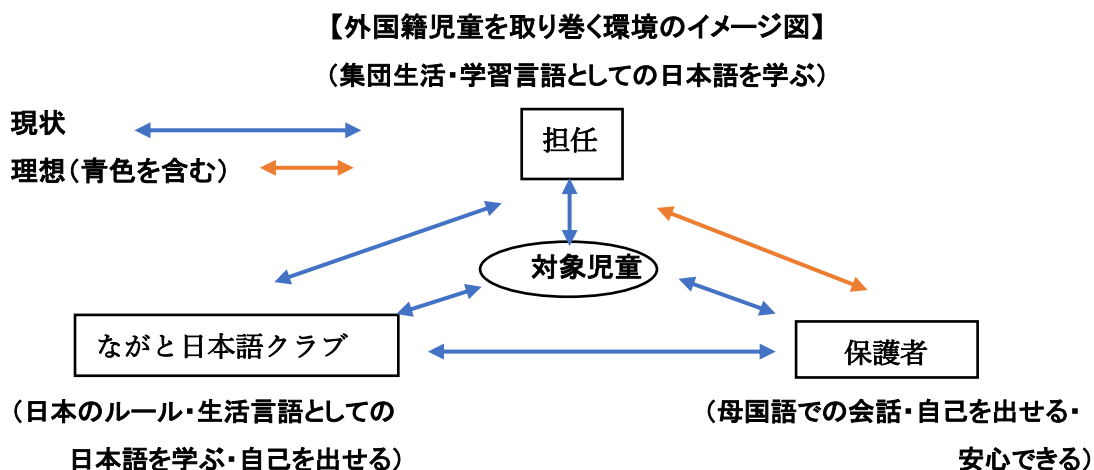


## 地域における多文化共生への理解が深まっていない現状の解決に向けて

ながと日本語クラブ 中岡久恵

### 設定課題①

担任の先生、保護者、ながと日本語クラブがつながりを持ち、外国籍の1人の子どもに関して情報共有ができるしくみを作りたい。



### 課題①設定の背景

ながと日本語クラブでは地域日本語教室を運営する傍ら外国籍児童生徒が通う小中学校において取り出しで日本語支援を実施している。その対応をする中で、外国籍児童が通う学校の担任の先生と外国人保護者、ながと日本語クラブとのコミュニケーションの場がほとんどなく相互の意思疎通が難しい部分があると感じていた。その解決策を探ることを今回の研修課題①とした。

### 課題①解決に向けた取り組み ・人と出会い、関係を作る ・課題を探る ・連携する ・仕組みを作る

実践内容	行ったこと・考えたこと
10月11日(月)15:30~17:00 「情報交換会」(於：A小学校)	・顔合わせ ・外国籍児童の学校での様子についてお話を伺い、日本語クラブでの様子や親子の気づき等についてお話をした。お互いの現状課題を共有することができた。
1月26日(水) 16:00~17:00 「情報交換会」(於：A小学校)	・外国籍児童の学校での様子や学校側の保護者への対応文書などについてお話を伺うことが出来た。

### 課題①についての地域日本語教育コーディネーターとしての役割

外国籍児童が通う学校の先生とながと日本語クラブとの関係を作り、それぞれの立場からの対象児童に対する課題を探り、連携し合える仕組み作り。

## 設定課題②

同じ地域で生活している外国籍住民と地域住民とが交流が持てるよう料理などを通じた活動を仕掛け、外国人の地域参画推進を図る方法を探る。あわせて、地域住民の1人として学校の先生にも参加を呼びかけ保護者とのコミュニケーションの機会につながる場作りをしたい。

## 課題②設定とその理由

同じ地域で生活しているにもかかわらず外国人と地域住民が直接交流する場がなく、地域に密着した国際交流につながっていない現状を感じており、その解決策を探ることを今回の研修課題②とした。

課題②解決に向けた取り組み ・人と出会い、関係を作る ・課題を探る ・連携する ・仕組みを作る

	実践内容	行ったこと・考えたこと
①	10月23日(土) 10:00~11:30 「さつまいも掘り体験&交流会」	・春に JA 長門と共催で植えたさつまいもの収穫を外国人と地域住民で行った。 ・さつまいもを使った外国料理を地域住民に教える交流会を行うことを提案した。
②	11月3日(祝) 10:00~12:00 「第1回 食べちゃろかい」	・ベトナム人主体で収穫したさつまいもを使って食の交流会を実施。  11月14日(日) ながとSDGsマルシェ 外国人の買い物に同行。深川地区社会福祉協議会の方に外国人を認識してもらう。
③	12月12日(日) 9:00~12:00 「第2回 食べちゃろかい」	・ベトナム人主体で食の交流会(揚げ春巻き作り)を実施。企画運営をすべて外国人にまかせる。 ・FBを使って地域住民の参加を広くよびかけた。 ・深川地区社会福祉協議会から2名参加。
		12月19日(日) 9:00~12:00 深川地区社会福祉協議会と共催で「餅をまるめる体験・パン作り」を実施

## 課題②についての地域日本語教育コーディネーターとしての役割

「食べちゃろかい」を企画し、外国籍住民と地域住民が共に主役となれる活動の場づくり。  
学習した日本語を使って、地域住民と会話ができる場づくり。

## 地域日本語教育コーディネーターとして自身が大切にしたい視点

- ① 地域で生活している外国籍の子ども達について社会からの取りこぼしがないようにすること。
- ② 地域に住んでいる外国人と日本人それぞれが共に過ごす時間を楽しみながらより自然につながりがもてるようにすること。